

「第1回家読サミットin伊万里」共同宣言

このたび、自治体をあげて「家読」に取り組んでいる茨城県大子町、青森県板柳町、佐賀県伊万里市の3首長が、伊万里市に集い「第1回家読サミットin伊万里」を開催いたしました。

子ども時代の読書は生涯学習のスタートであり、多くの知恵を養うとともに、豊かな想像力や感性を育みます。また、子どもは、家庭内に醸成された気風を呼吸しながら成長します。したがって、子どもに必要なのは、家族の愛情と心のつながりです。

「家読」こそは、それを実践するための大切な方法のひとつであると考えます。また、本を読むことによって習得する言語能力と知的働きは、やがて地域のまちづくりや、国の発展にもつながるものと確信いたします。

「第1回家読サミットin伊万里」に参加した自治体が、さらに連携を密にし、交流を深めていくことによって、「家読」が全国の自治体へと広がっていくよう一層努力をすることを決意し、次のとおり宣言いたします。

1. 子どもが本を読むことを通して、心の中に想像の翼や知的エネルギーを蓄え、未来へ向かって羽ばたくことができるよう支援します。
2. 家族がみんなで本に親しみ、語り合い、コミュニケーションの輪を広げることによって、親子の絆が深まっていくよう努めます。
3. 子どもの身近に本のある環境を整えるよう、公共図書館、学校図書館、幼稚園、保育園等の図書の充実に、自治体をあげて取り組みます。

平成21年10月31日

茨城県大子町長

綿引久男

青森県板柳町長

館岡一郎

佐賀県伊万里市長

塚部芳和